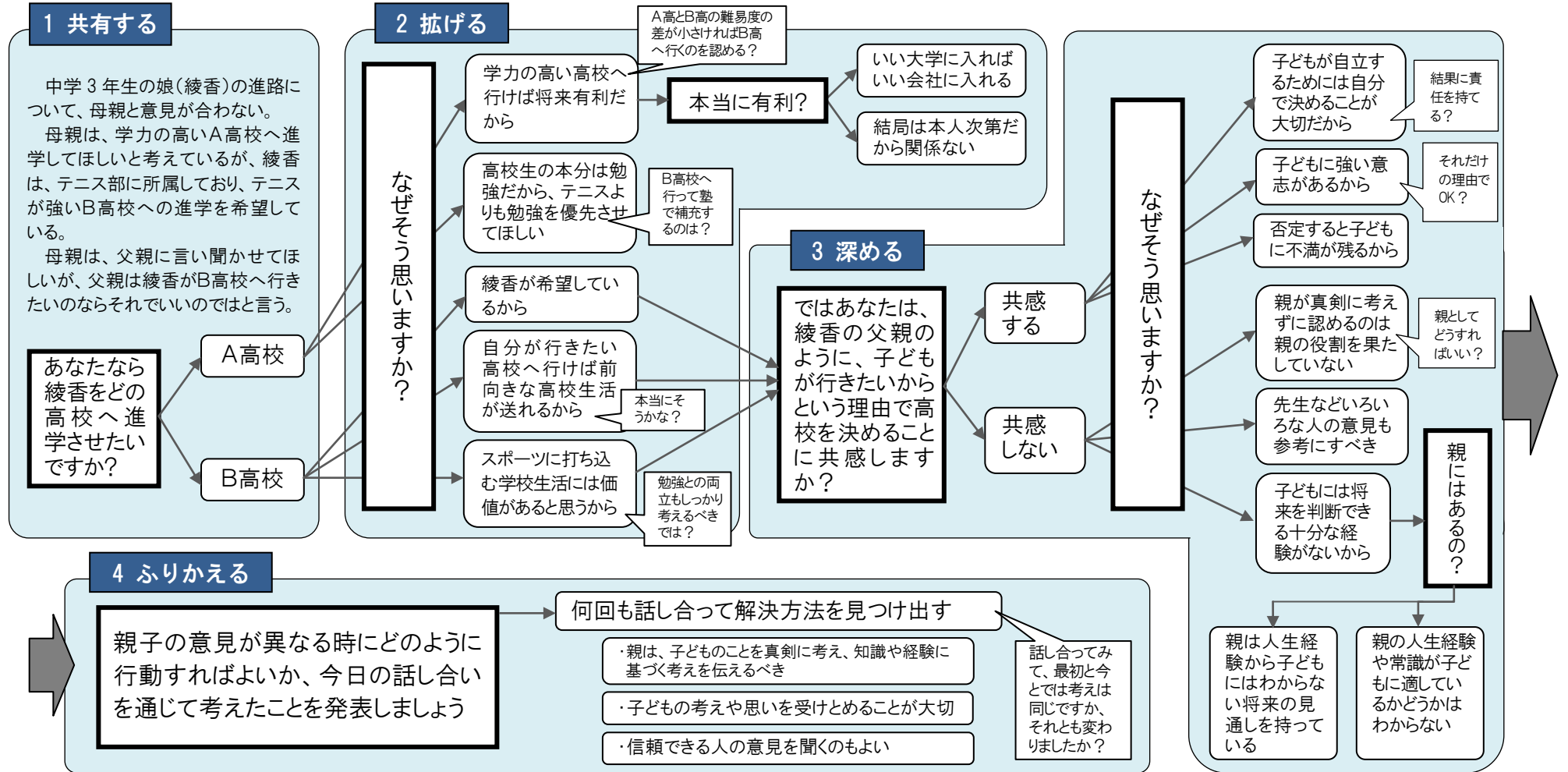


進路について親子が相談するエピソードを通じて、子どもと意見が異なる時、親としてどのように行動すればよいか考える



学習展開のポイント

- ・〈1 共有する〉〈2 広げる〉では、子どもの進路の決定に際して、2つの選択肢のどちらに立つかを考え、出し合うことにより、立場によって異なる考え方や理由を知ります。
- ・〈3 深める〉では、子どもの希望を親としてどう受け止めるかに論点を絞って話し合うことにより、親の願いと子どもの希望との葛藤場面を作ります。
- ・〈4 ふりかえる〉では、この時間の話し合いを通じて、子どもと意見が異なる時の親としての行動について、改めてどう考えたかを出し合う場面を設定します。

学習上の留意点

- ・〈2 広げる〉では自分の考えを率直に出し合えるようにし、「親の願い」と「子どもの希望」という観点で大きめに整理します。
- ・参加者が考えの理由を出し合うことで生じる葛藤を通じて、考えを深めより確かにすることをめざします。
- ・高校を決める理由を話し合う中で、子どもには将来を判断できる十分な経験がない一方で、親の人生経験が子どもに適しているかどうかはわからないことを対比させて、子どもが根拠を持って自己決定することの大切さについて考えましょう。
- ・最後に自分ならどう行動するかを話すことで、一人一人が自分の考えをまとめます。